

四万十市立竹島小学校 第2学年 道徳科学習指導案

令和3年 12月2日(木) 第5校時

児童数 9名(男子5名 女子4名)

指導者 中平 博実

1 主題名 言葉の力 【礼儀】 小学校低B (8)

2 ねらいと教材

(1) ねらい

「ふわふわ言葉」と「ちくちく言葉」から受ける印象を自分の生活を振り返りながら考えることを通して、言葉には大きな力があることに気づき、気持ちのよい言葉遣いに心掛け、人と明るく接しようとする道徳的実践意欲を培う。

(2) 教材名 「ふわふわことば ちくちくことば」

(小学生のどうとく2 廣済堂 あかつき)

3 主題設定の理由

(1) ねらいや指導内容についての教師の捉え方

よい人間関係を築くためには、相手に対して真心がこもった気持ちのよい応対ができなければならない。身近な人々と明るく接する中で、時と場に応じた挨拶や言葉遣いなどがあることに気づき、気持ちよく感じる体験を繰り返し行うことで、しっかりと身に付けることが大切であると考える。

(2) 児童のこれまでの学習状況や実態と教師の願い

本学級の児童は、あおぞら学級の児童2名を含めた9名で学習している。女子は積極的に活動できるが、男子は消極的な児童が多い。授業中も間違えることを恐れ自分の意見が言いづらかったり、場面緘黙の傾向があり言葉に詰まったりすることがある。休み時間には、男女共に仲良く遊んでいる姿も見られるが、相手の気持ちを考えずに言葉を発しトラブルに発展することもある。人間関係が広がり始めるこの時期に、場に応じた挨拶や言葉遣いを体験的に学習し、その気持ちよさを感じることは、これからの子どもたちの人間関係づくりに有効であると感じる。本時の学習を通して、言葉が引き起こす様々な感情に気付くと共に、友だちに対して温かい言葉をかけようとする気持ちを育てていきたい。

(3) 使用する教材の特徴や取り上げた意図及び具体的な活用方法

本教材は、物語ではなく日常生活で使っている言葉から受ける気持ちや感情を考える構成となっている。児童が日常使っている「ふわふわ言葉」と「ちくちく言葉」を取り上げ、それぞれの言葉がどんな時にどんな気持ちで使われるのかを考え、また、言われた人の心を考えるこ

とで、気持ちのよい挨拶、言葉遣いについて考えを深められると考える。

指導の際には、言葉遣いという行動面の指導に終始するのではなく、そこに込められている心についても考えを深め、心と形が一体となった礼儀作法について、児童が日常を振り返りながら考えられるように展開したい。そして、「言葉の力」に気付くことで、心のこもったよい言葉を使っていこうとする態度を育てたい。

4 学習指導過程

	学習活動	○主な発問◎中心発問◇問い返し発問 ・予想される児童の反応	指導上の留意点 評価の視点（評価方法）
導入	1. 本時の学習課題を知る。	○「ふわふわ」「ちくちく」という言葉から、どんな感じがしますか。 ・ ㊸…かるい・やわらかい ・ ㊹…とげとげ・いたい ○今日は、ことばの持つ力について考えてみましょう。	○導入なので、イメージしたことを短く発表させる。
展開	2. ふわふわ言葉について話し合う。	○言われるとうれしくなる言葉（ふわふわ言葉）には、どんな言葉がありますか。（カードに書く） ・ ありがとう ・ ごめんね ・ だいじょうぶ ・ 上手 ・ がんばって ・ すごい ・ がんばっているね ○ふわふわ言葉を言われると、どんな気持ちになりますか。 ・ うれしくなる ・ 元気が出る ・ 優しい気持ち ・ がんばろう ・ 勇気が出る ◇ふわふわ言葉を言った時、どんな気持ちになりますか。	○言われるとうれしくなる言葉を想起させる。 ○自分の体験も入れながら話すことを助言する。 ○ふわふわ言葉を言ったり言われたりした時の気持ちを考えることを通して、明るく元気になれることを考えさせる。
	3. ちくちく言葉につ	○言われて悲しくなったり、いやな	○アンケートの結果か

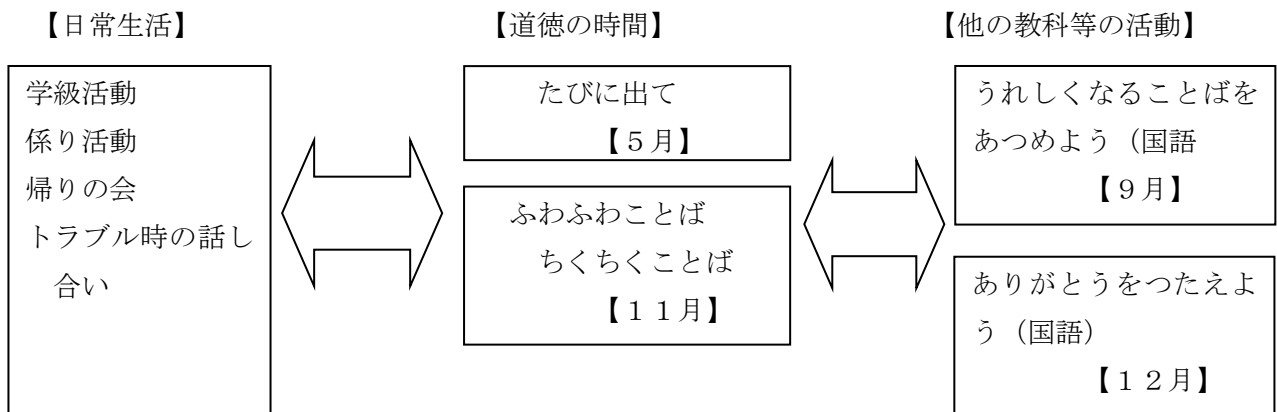
	<p>いて話し合う。</p> <p>4. 言葉の持つ力について話し合う。</p>	<p>気持ちになったりする言葉（ちくちく言葉）には、どんな言葉がありますか。（カードに書く）</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ばか ・あほ ・しね ・下手 ・嫌い ・むかつく ・早くして・仲間に入れん <p>◇普段使ったことのあるちくちく言葉はありますか。</p> <p>○ちくちく言葉を言ったり言われたりすると、どんな気持ちになりますか。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・かなしい ・さみしい ・暗い気持ち ・やる気がなくなる ・元気がなくなる <p>◎言葉にはどんな力があるのでしょうか。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・言葉は、人を 元気にする力 笑顔にする力 明るい気持ちにさせる力 優しい気持ちにさせる力 仲良くさせる力 悲しい気持ちにさせる力 さみしくさせる力 <p>◇どうしてそんな力があるのだろうか。</p>	<p>ら、友だちの言葉で傷ついていることがあることを知らせ、言葉遣いについての意識を高める。</p> <p>○普段使っているちくちく言葉を想起させる。</p> <p>○自分の体験も入れながら話すことを助言する。（個人の名前は出さないよう配慮する）</p> <p>○ちくちく言葉を言われた時の暗くなる心を考えさせる。</p> <p>○言葉は使い方しだいで、人を傷つけたり元気にしたりすることに気付かせる。</p> <p>○言葉は心が伴ってないと相手に届かないことに気付かせると共に、友達と仲良くするためには、相手のことを考えた言動が大切であることに気付かせる。</p> <p>自 気持ちのよい言葉遣いや態度について、自分の生活を振り返りながら考えている。（発言）</p> <p>多 「ふわふわ言葉」や「ちくちく言葉」を言ったり言われたりした時の気持ちを様々な視点で捉え、</p>
--	--	---	--

		<p>○友達の頑張っているところや良いところを、ふわふわ言葉で伝えてみましょう。</p>	<p>言葉が持つ力について理解を深めている。(発言)</p> <p>○友達に褒められたり感謝されたりする活動を通して、心地良い言葉のよさを体感させる。</p>
終末	5. 学習を振り返る。	○今日学習して考えたことや気付いたことを書きましょう。(ワークシート)	○生活の中での言葉の使い方を振り返り、よりよい言葉を使おうとする意欲を高める。

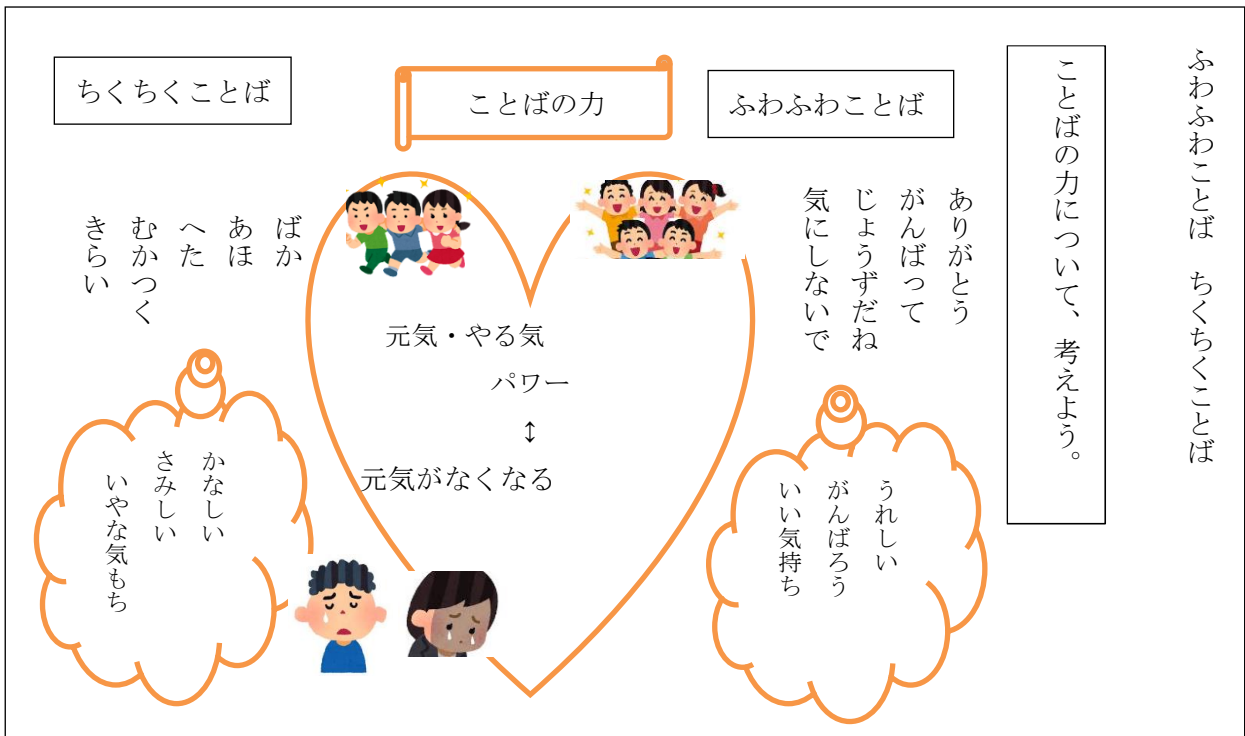
5 評価の視点 (評価方法)

- 自** 「道徳的価値の理解を自分自身との関わりの中で深めているか」
- ・気持ちのよい言葉遣いや態度について、自分の生活を振り返りながら考えている。(発言)
- 多** 「多面的・多角的な見方へと発展させているか」
- ・「ふわふわ言葉」や「ちくちく言葉」を言ったり言われたりした時の気持ちを様々な視点で捉え、言葉が持つ力について理解を深めている。(発言)

6 体験活動や他教科等との関連



7 板書計画



アンケート

2年 名前〔 〕

1. 友だちに言われたことばで、うれしい気持ちになったことはありますか。

はい

いいえ

2. 言われるとうれしくなることばは、どんなことばですか。



3. 友だちに言われたことばで、いやな気持ちになったことはありますか。

はい

いいえ

4. いやな気持ちになることばは、どんなことばですか。

